

Daily Macro Economic Insights

景気動向指数(2024年10月分速報)

—機械的景気判断は「下げ止まりを示す」で据え置き—



PwC Intelligence チーフエコノミスト、上席執行役員 片岡 剛士
シニアエコノミスト 伊藤 篤

景気動向指数はCI一致指数が2か月連続の上昇、「下げ止まり」からいつ脱却するかが焦点

内閣府から2024年10月の景気動向指数が公表された。10月のCI速報値(2020年=100)は先行指数108.6、一致指数116.5、運行指数107.2となった。先行指数は9月から0.3ポイント下降して2か月ぶりの下降、一致指数は9月から2.5ポイント上昇して2か月連続の上昇、運行指数は9月から0.3ポイント上昇して2か月ぶりの上昇となった。一時的要因による振れの影響を除くため、3か月後方移動平均や7か月後方移動平均の前月差をみると、CI一致指数の3か月後方移動平均は0.03ポイント上昇と2か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は0.31ポイント上昇し、こちらは4か月連続の上昇となった。今回の結果を受けて、CI一致指数から機械的に導かれる基調判断は引き続き「下げ止まりを示している」で据え置かれた。

図表1は一致指数の前月差と一致指数を構成する各指標の寄与度をみている。10月の前月差はプラスとなった。これは一致指数を構成する10指標のうち7指標がプラスであり、特に生産指数が前月に続き堅調であったこと、商業販売額がプラスとなったことが大きい。

生産・出荷指数は、生産予測調査の結果を踏まえると11月、12月は下落に転じる可能性が高い。今後は「下げ止まり」の局面からいつのタイミングで局面変化が生じるのかがポイントとなろう。

図表1:一致指数の推移とその内訳

	一致指数		生産指数 (鉱工業)	鉱工業用 生産財 出荷指数	耐久 消費財 出荷指数	労働投入量 指数 (調査産業計)	投資財 出荷指数 (除輸送機械)	商業 販売額 (小売業)	商業 販売額 (卸売業)	営業利益 (全産業)	有効求人 倍率 (除学卒)	輸出数量 指数		
	指数	前月差												
	指数	前月差の 寄与度												
2022年	6	113.3	2.1	0.53	0.52	0.67	0.18	0.25	-0.23	-0.13	0.01	0.29	0.06	
	7	113.8	0.5	0.08	0.03	0.26	-0.18	0.19	0.09	-0.23	-0.04	0.29	0.03	
	8	115.0	1.2	0.20	0.00	-0.14	0.13	0.42	0.18	0.31	-0.04	0.29	-0.19	
	9	114.4	-0.6	-0.06	-0.15	0.03	0.00	-0.46	0.07	-0.10	-0.04	0.15	-0.06	
	10	114.0	-0.4	-0.24	0.02	-0.09	-0.16	-0.11	-0.04	-0.22	0.14	0.15	0.10	
	11	113.9	-0.1	0.00	-0.09	0.25	0.05	-0.28	-0.20	-0.10	0.14	0.29	-0.18	
	12	113.4	-0.5	-0.08	-0.23	-0.08	0.01	0.15	0.14	-0.06	0.14	0.02	-0.41	
	2023年	1	112.5	-0.9	-0.37	-0.12	0.14	-0.08	-0.55	0.12	-0.19	0.16	0.02	-0.09
		2	114.6	2.1	0.47	0.35	0.16	0.13	0.43	0.24	0.09	0.16	-0.11	0.14
		3	114.4	-0.2	0.06	-0.07	0.29	0.00	-0.05	-0.04	-0.13	0.16	-0.24	-0.10
		4	114.4	0.0	0.04	-0.08	0.11	-0.02	-0.10	-0.19	-0.12	0.10	0.03	0.24
		5	115.1	0.7	-0.15	-0.09	0.21	0.34	0.04	0.07	0.14	0.09	0.03	-0.06
6		115.0	-0.1	0.13	0.17	-0.05	-0.12	-0.05	-0.02	-0.24	0.09	-0.10	0.10	
7		114.8	-0.2	-0.20	-0.12	-0.23	-0.25	-0.24	0.15	0.09	0.33	-0.09	0.35	
8		115.1	0.3	-0.05	0.19	0.04	0.21	-0.01	0.00	0.05	0.32	0.04	-0.45	
9		115.6	0.5	0.02	0.02	0.06	-0.08	-0.08	-0.08	-0.05	0.31	-0.09	0.45	
10		115.6	0.0	0.17	-0.08	-0.05	0.03	0.09	-0.22	0.09	-0.01	0.05	-0.07	
11		114.7	-0.9	-0.08	0.07	0.05	-0.02	-0.13	0.14	-0.10	-0.01	-0.22	-0.53	
12		115.8	1.1	0.17	0.02	0.13	-0.08	0.46	-0.31	0.06	-0.01	0.05	0.58	
2024年	1	112.9	-2.9	-0.59	-0.61	-0.75	-0.14	-0.58	-0.03	0.05	0.13	0.05	-0.42	
	2	112.3	-0.6	-0.08	-0.13	-0.41	0.30	-0.29	0.27	0.18	0.13	-0.08	-0.44	
	3	114.3	2.0	0.61	0.27	0.32	-0.11	0.51	-0.23	-0.18	0.13	0.32	0.32	
	4	115.3	1.0	-0.12	-0.07	0.16	0.23	0.13	0.10	0.55	0.17	-0.22	0.08	
	5	117.2	1.9	0.44	0.46	0.59	0.57	0.02	0.09	0.14	0.17	-0.22	-0.39	
	6	113.8	-3.4	-0.61	-0.52	-0.44	-0.79	-0.92	0.11	-0.42	0.17	-0.08	0.08	
	7	116.4	2.6	0.44	0.55	0.01	0.32	0.67	-0.11	0.61	-0.17	0.19	0.12	
	8	113.3	-3.1	-0.47	-0.65	-0.41	0.03	-0.51	0.04	-0.57	-0.17	-0.08	-0.28	
	9	114.0	0.7	0.23	0.43	0.29	-0.34	-0.06	-0.25	-0.08	-0.17	0.18	0.50	
	10	116.5	2.5	0.52	-0.09	0.39	-0.00	0.94	0.12	0.49	0.07	0.23	-0.21	

出所:内閣府より筆者作成。

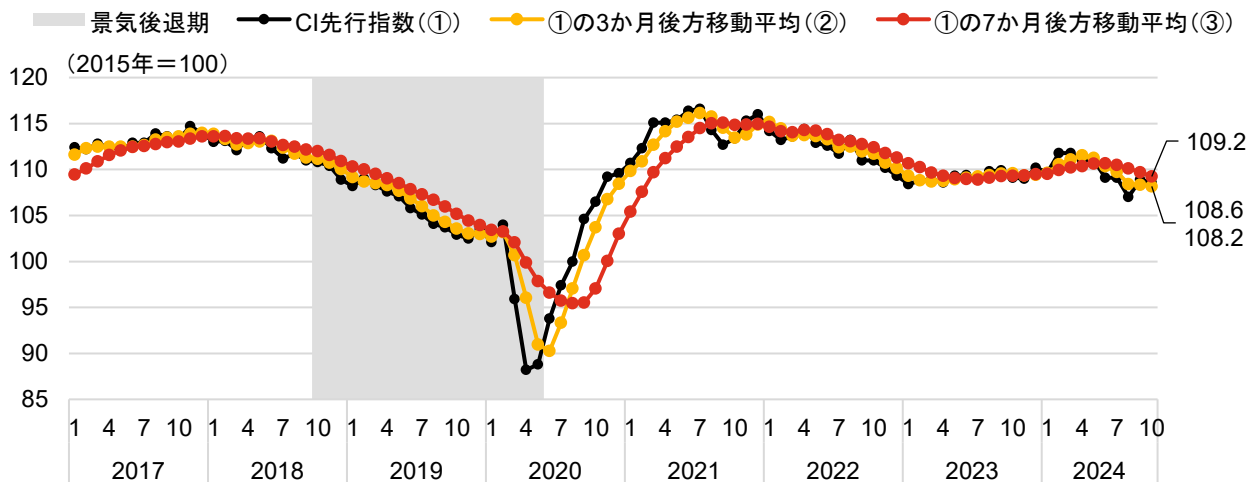
先行指数の下落トレンドは変わらず、依然として景気の勢いは弱い

10月の先行指数は108.6と9月の108.9から0.3ポイント低下した。8月から9月にかけて上昇したものの、再び低下となり、図表2のとおり、先行指数の3か月後方移動平均、7か月後方移動平均はともに下落トレンドとなっている。

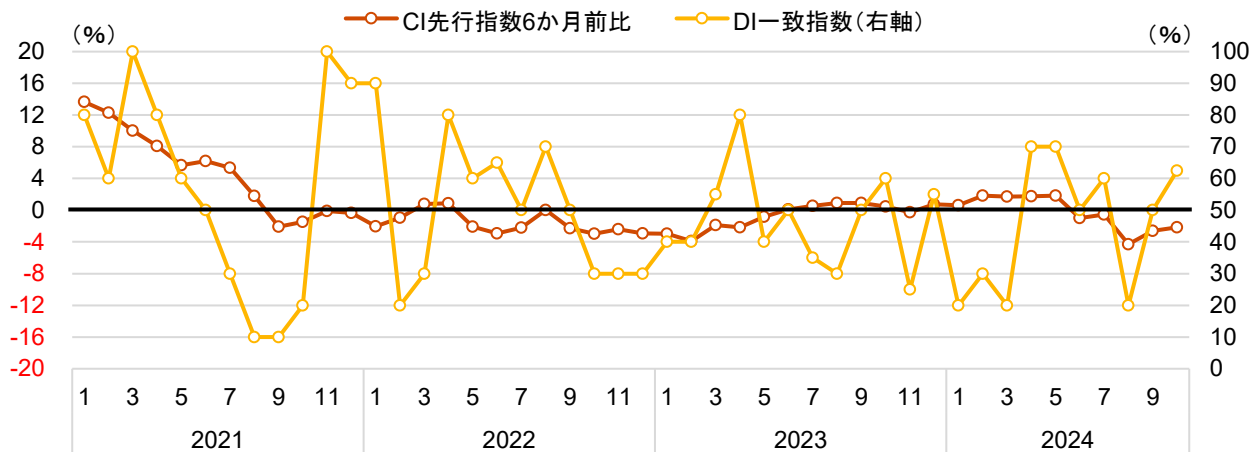
図表3は図表2のCI先行指数の6か月前との変化率と、DI一致指数の推移を示している。CI先行指数6か月前比は景気が今後改善基調に向かうのかどうかを意味しており、この値のプラスが続けば、景気の勢いが強いことを意味する。DI一致指数は50%を上回れば、現在の景気は改善しており、50%を下回れば、現在の景気は悪化していることを意味する。以上から、CI先行指数6か月前比がマイナスとなり、DI一致指数が50%を下回る状態が続けば、景気は悪化している可能性が高いということになる。

図表3をみていくと、2021年9月から2023年5月にかけて、CI先行指数6か月前比は概ねマイナスで推移し、2023年6月以降はプラスとなる期間が増えているものの、最大でも2%強のプラスと弱めの動きが続いた。さらに2024年6月から9月にかけて4か月連続のマイナスとなり、10月も-2.2%と依然として下落度合いが大きい。DI一致指数は2021年9月以降、50%を下回る期間が多かったが、10月は62.5%と9月に続き持ち直した。やや改善の動きはあるものの、依然として景気の勢いは弱いことに留意すべきである。

図表2: 先行指数の推移



図表3: CI先行指数6か月前比とDI一致指数の推移



出所: 内閣府より筆者作成。

片岡 剛士
チーフエコノミスト、上席執行役員
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤
シニアエコノミスト
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel:03-6257-0700